

平成20年度研究連絡会議議題等一覧

回数 開催月日	議題等	内容等
第71回 4月18日	(1) 平成20年度調査・研究課題について	<p>・平成20年度の調査・研究課題（①所蔵資料における特定重要テーマの体系的整備・充実、②展示会開催のための所蔵資料の調査研究、③「書物方日記」の年代記の作成（4年計画の1年目）、④当館所蔵の漢籍目録のデータベース化、⑤当館所蔵の漢籍の宋版及び元版の解題（4年計画の1年目）、⑥個人情報等の公開基準の見直しの検討、⑦既存目録の検索手段の充実及び見直し）について、それぞれ各テーマを担当する専門官・研究官より説明があり、質疑応答を行った。</p>
	(2) つくば分館における平成20年夏の企画展について	<p>・つくば分館の開館10周年にあたる平成20年夏の企画展は、「つくば今昔物語」と題し、開催期間は7月22日～8月31日とすることとした。</p>
	(3) つくば分館常設展示室のリニューアルについて	<p>・つくば分館常設展示室の整備、展示資料の変更とレプリカ等の整備状況について説明がなされた。</p>
	(4) (アジ歴) 中国関係機関との交流及び講演会の開催について	<p>・アジ歴の広報を主たる目的として、3月に行った中国関係機関との交流及び講演会（北京・上海・南京を訪問）についてアジ歴より報告がなされた。</p>
	(5) 全米東アジア図書館協議会 (CEAL) 年次総会等出席報告について	<p>・全米東アジア図書館協議会 (CEAL) 年次総会等 (アトランタ) について、出席した専門官より報告がなされた。</p>
	(6) 平成20年度研究連絡会議開催予定について	<p>・平成20年度の研究連絡会議の開催予定について報告が行われ、了承された。</p> <p>・次回研究連絡会は神田外国語大学教授・異文化コミュニケーション研究所所長和田純氏に「日本国内所在の歴史資料の現状と課題：アジア歴史資料センターの委託調査から見えてきたもの」について講演を依頼する旨が提案され、了承された。</p>
第72回 5月16日	外部講師による講義	<p>・神田外国語大学教授・異文化コミュニケーション研究所所長和田純氏が「日本国内所在の歴史資料の現状と課題：アジア歴史資料センターの委託調査から見えてきたもの」について講演</p> <p>・講演終了後、地方の公文書館を含めた横断的な情報源の整備における問題点、アジア歴史資料の中核機能を果たす上での課題、民間機関の所蔵する資料の現状に関し質疑応答がなされた。</p>

回数 開催月日	議題等	内容等
第73回 6月20日	(1)平成20年夏の企画展について	・夏の企画展「オリンピック」(案)について、担当専門官が説明を行った。また、子供向けに「ぶん蔵」から作成したキャラクターを使用することについても説明があり、適宜質疑応答があった。
	(2)平成20年秋の特別展について	・秋の特別展「学びの系譜」(案)の各コーナー、壁面への展示資料について担当研究官が説明を行った。
	(3)『北の丸』第41号掲載予定論文について	・『北の丸』第41号等の掲載予定論文の構成案が説明され、了承された。
	(4)ICA 執行委員会及びコスモス・グループ会合出張報告	・4月14日～18日にスウェーデン・マルメで開催されたICA 執行委員会会合等及びイギリス・エディンバラで開催されたコスモス・グループ会合について、各会合の概要、主な議題、開催までの経緯、業務の委託、出席者の声などが報告された。記録写真を映しながら会合の様子も報告された。
	(5)韓国ナラ記録館開館記念国際セミナー並びに EASTICA 理事会及びセミナーについて	・4月22日～25日に行われた韓国ナラ記録館開館記念国際セミナー並びに EASTICA 理事会及びセミナーについて、出張した専門官らが報告。概要について説明がなされた後、同館の運営方法や先進性について質疑応答がなされた。
	(6)次回研究連絡会議について	・カナダ国立図書館公文書館長・次期 ICA 会長であるイアン・ウィルソン氏に講演を依頼する旨を提案した。 ※ただし来日スケジュールの変更により実現せず。
第74回 7月18日	(1)公文書の在り方等に関する有識者会議中間報告について	・公文書の在り方等に関する有識者会議中間報告について、①組織の在り方(国の機関に戻るのか、特別の法人となるのか)、②文書管理に関する専門家の養成、③移管文書の利用、④移管・延長・廃棄について問題点を説明し、①の点について特に討議がなされた。
	(2)アジ歴の韓国出張報告について	・5月26日～31日にアジ歴の広報と関係機関との関係強化を目的として行われた韓国(ソウル、大田、釜山、済州)出張について出張員より報告がなされた。
	(3)中間書庫事業の現状と課題について	・内閣府参事官補佐が内閣官房・内閣府「中間書庫」(パイロット事業)の概要と課題について説明を行った。
第75回 9月19日	(1)平成21年春の特別展について	・平成21年春の特別展「旗本・御家人」(仮)の構成について担当の専門官より説明があり、適宜質疑応答がなされた。

回数 開催月日	議題等	内容等
	(2) 専門職員養成課程における専門官等担当講座について	・今年度を実施する専門職員養成課程において、講座を担当するそれぞれの専門官等（館長、参与、理事、専門官、研究官）から、講義の日程や概要、内容について説明が行われた。
	(3) 国際公文書館会議（ICA）クアラルンプール大会報告	・7月20日～28日にマレーシア・クアラルンプールで開催されたICA大会について出張員より概要・成果等について報告がなされた。 ・修復ワークショップ及びインドネシア・アチェ州出張についても報告がなされた。
	(4) つくば分館夏の企画展「つくば今昔物語」の結果報告	・今年度のつくば分館における夏の企画展について、その概要（広報手段も含む）と成果（来館者数）等について報告がなされた。
	(5) 次回研究連絡会議について	・次回の研究連絡会議における外部講師について案が示され、米国テキサス大学オースティン校デイビッド・B・グレイシー教授への講演依頼が了承された。
第76回 10月17日	外部講師による講義	・米国テキサス大学オースティン校デイビッド・B・グレイシー教授が「アメリカにおけるアーカイブズとアーカイブズ学教育の発展について」講演 ・講演終了後、米国の公開開始が日本の「30年原則」に比べ12年と短い点、レコードマネージャーの重要性、大統領記録法とブッシュ大統領命令の関係等について質疑応答が行われた。
第77回 11月7日	(1) 平成20年度調査・研究課題の進捗状況について	・平成20年度の調査・研究課題（①所蔵資料における特定重要テーマの体系的整備・充実、②展示会開催のための所蔵資料の調査研究、③「書物方日記」の年代記の作成（4年計画の1年目）、④当館所蔵の漢籍の宋版及び元版の解題（4年計画の1年目）、⑤個人情報等の公開基準の見直しの検討、⑥既存目録の検索手段の充実及び見直し）について、それぞれ各テーマを担当する専門官・研究官から、今年度の調査・研究の進捗状況について説明があり、適宜質疑応答がなされた。
	(2) 平成21年春の特別展について	・平成21年春の特別展について担当専門官より説明があり、展示内容・資料、講演会の講師選定等について、引き続き検討することとなった。
	(3) ICA 執行委員会等の出席報告	・10月8日～14日のICA執行委員会（オーストリア・ウィーン）及びドイツ連邦公文書館等の訪問について、出張した専門官より概要・成果について報告がなされた。

回数 開催月日	議 題 等	内 容 等
	(4) 次回研究連絡会議 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回は、外部講師として国文学研究資料館アーカイブズ研究系教授・研究主幹高橋実教授に「公文書管理の在り方等に関する有識者会議の最終報告について」講演を依頼することが提案され、了承された。
第 78 回 11 月 28 日	外部講師による講義	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国文学研究資料館アーカイブズ研究系教授・研究主幹高橋実教授が「公文書管理の在り方等に関する有識者会議の最終報告について」講演 ・ 講演終了後、現用文書についてのアーカイブズ学的な研究の動向、法律成立後に採用すべき人材の資質、研究拠点の在り方や館との関係等について質疑応答がなされた。
第 79 回 12 月 19 日	(1) 平成 20 年度移管 事務の進捗状況に ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9 月 16 日締め切りの移管にかかる事前申告・協議の提出状況について各担当専門官から報告が行われた。12 府省等から事前申告・協議があり、移管の申出（未提出の 2 省を除く）・照会状況（協議予定文書）について説明がなされた。 ・ 移管協議の対象や問題点、法律成立後の方針について適宜質疑応答がなされた。
	(2) つくば分館におけ る平成 21 年夏の企 画展について	<ul style="list-style-type: none"> ・ つくば分館における平成 21 年夏の企画展「茨城の学び」の展示内容・資料について説明があり、了承された。
	(3) (アジ歴) 中国東 北地方等の関係機 関との交流につい て	<ul style="list-style-type: none"> ・ アジ歴の広報を主たる目的として、10 月 20 日～24 日に行われた中国（北京、瀋陽、長春、大連）出張について専門官より報告がなされた。
	(4) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江戸東京博物館長竹内誠氏より聴取した平成 21 年春の特別展の展示資料等に関する意見について、その概要が報告された。
第 80 回 1 月 16 日	(1) 平成 21 年春の特 別展について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 21 年春の特別展の展示内容について説明が行われ、解説・目録について適宜質疑応答がなされた。
	(2) 平成 21 年秋の特 別展について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 21 年秋の特別展「天皇陛下御在位 10 年記念公文書特別展示会」(仮)の展示内容の構成、タイトル、開催期間、アドバイザーの選定等について説明が行われ、質疑応答がなされた。
	(3) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 21 年夏の企画展「気象」(仮)について案が示された。 ・ 次回研究連絡会議（外部講師による講義）について、板橋区公文書館館長野中純・長野市公文書館係長野田寿一両氏に「地方自治体における公文書館の現状と課題—国立公文書館が行った地方公文書館設立への支援を中心に—」と題した講演を依頼する旨が提案され、了承された。

回数 開催月日	議題等	内容等
第81回 2月20日	外部講師による講義	<ul style="list-style-type: none"> ・板橋区公文書館館長野中純・長野市公文書館係長野田寿一両氏が「地方自治体における公文書館の現状と課題—国立公文書館が行った地方公文書館設立への支援を中心に—」についてそれぞれ講演。 ・講演終了後、地方公文書館が抱える問題点（職員・施設・データベース化・広報等）について質疑応答がなされた。
第82回 3月13日	<p>(1) 平成20年度マクロ評価選別に係る基礎的調査研究について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(2) 平成20年度調査・研究課題の進捗状況について（本年度の総括）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度電子公文書等の作成または作成前からの評価選別にかかる基礎的調査（マクロ評価選別の日本版マニュアルの作成）について、業務課より報告が行われ、質疑応答がなされた。 ・成果については『北の丸』第40・41両号にも掲載された。 ・平成20年度の調査・研究課題（①平成21年度における所蔵資料に係る特定重要テーマの調査実施について、②展示会開催のための所蔵資料の調査研究について、③「書物方日記」の年代記の作成、④当館所蔵の漢籍の宋版及び元版の解題、⑤個人情報等の公開基準の見直しの検討、⑥既存目録の検索手段の充実及び見直し）について、それぞれ各テーマを担当する専門官・研究官から進捗状況の報告がなされ、次年度の計画について説明を行った。